

はじめての 万葉集

[vol.35]

日本に現存する最古の
和歌集「万葉集」を
わかりやすくご紹介します。

一坏の 験なき 物を思はずは

しるし
ひとつき
にご
おも

訳

考へても仕方ない物思いをしないで、一杯の濁り酒を飲むのがよいらしい。

大伴旅人

卷三 三三八番歌

一杯の酒

古代では、お酒は神や王への重要な捧げ物であり、王は臣下たちと酒宴を開いて打ち解け、よりよい政治を目指そうとしました。現在でも、神社にお酒を奉納したり、宴会にお酒が欠かせないのは、神と人、人ととの間を取り持つ魔法の水がお酒だと考えられたからでしょう。

今回の歌はそれとは少し趣きが異なる、大伴旅人の「酒を讃むるの歌十三首」の一首目です。大伴旅人はこの時、大宰帥（長官）として大宰府（今の福岡県）に赴任しています。その頃、旅人は中国文学を積極的に作品に取り入れた、新しい文学スタイルを作り出していきました。

旅人はこの歌で、無駄な物思いをするくらいなら、一杯の酒を飲んでいる方が良いようだと言います。する方が良いようだと言います。

日本酒は冬から春、夏から秋へと日本の四季の移ろいとともに生き方よりも、酒を飲んで心のままに生きる生き方を理想とし、肯定しようとしたのです。

（本文 万葉文化館 大谷 歩）



日本酒

日本酒は冬から春、夏から秋へと日本の四季の移ろいとともに生き方よりも、酒を飲んで心のままに生きる生き方を理想とし、肯定しようとしたのです。

日本酒は冬から春、夏から秋へと日本の四季の移ろいとともに生まれ育ち、燗してよし、冷やしてよし、という世界でも珍しいお酒です。他の酒類と比較すると飲用温度に幅があり、5°C～55°Cぐらいまでと広範囲にわたっています。

清酒発祥の地といわれる奈良には29の酒蔵があり、各地域でその土地ならではの気候風土、文化を生かした銘酒を育んでいます。

万葉ちゃんの
つぶやき

「和歌に関するものをお届けするよ!!」



万葉ちゃん

問 奈良県酒造組合

☎ 0745-51-3388 www.yamato-umazake.com/

問 県広報広聴課 ☎ 0742-27-8326 FAX 0742-22-6904